

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初

事 項	不登校児童生徒等支援事業費								予算主管課		義務教育課				
事 業 概 要	不登校児童生徒への多様で適切な教育機会を確保するため、校内サポートルームの設置をはじめ、学校外での学びに対する経済的支援やフリースクールとの連携推進、県教育支援センターの機能充実等により、社会的自立に向けた支援に取り組む。								始期		2020				
									終期						
K P I	学校内外の機関等や担任等から相談・指導等を受けた不登校児童生徒の割合														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	%		目標値	95.8 %		目標値	95.8 %					
	実績値	%		実績値	%		実績値	95.5 %		実績値	%				
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	99.7 %		達成率	%				
	コ ス ト			最終現計 予算額	9465 千円		最終現計 予算額	18445 千円		最終現計 予算額	40500 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	7259 千円		決算額	13471 千円		決算額	22140 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
						不用額	18360 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因 2026年10月判明												
			総括												
	見直し方向性		維持		8年度には、校内教育支援センターの設置が県・市町ともに大幅に進むため、事業の成果が出てくることが見込まれる。今後も引き続き関係機関と緊密に連携し、個々の児童生徒が必要とする支援の充実と多様な学びの場の確保に取り組む。また、10月頃に公表される調査結果を踏まえた上で、9年度において、更なる改善が図れるよう対策を検討する。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	スクールカウンセラー活用事業費								予算主管課		義務教育課		
	事 業 概 要	臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを中学校に配置するとともに、県内全ての小中学校に派遣できる体制を整え、教育相談体制の充実を図る。								始期		2001		
										終期				
	K P I	児童生徒及び教職員、保護者等が抱える問題が好転した相談件数の割合（スクールカウンセラー）												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	26 %		目標値	26 %		目標値	26 %			
		実績値	%		実績値	22.7 %		実績値	23.2 %		実績値	24.4 %		
		実績値	%		実績値	22.7 %		実績値	23.2 %		実績値	24.4 %		
		実績値	%		実績値	22.7 %		実績値	23.2 %		実績値	24.4 %		
	ストック /フロー	フロー		達成率	87.31 %		達成率	89.2 %		達成率	93.8 %			
	コ ス ト			最終現計 予算額	76429 千円		最終現計 予算額	77928 千円		最終現計 予算額	90202 千円			
				決算額	75090 千円		決算額	76619 千円		決算額	88625 千円			
								繰越額	千円		繰越額	千円		
								不用額	1577 千円		不用額	千円		
	7 年 度	要因分析	要因 各学校で、学校だよりやホームページ等にスクールカウンセラーの訪問日を伝えるなど周知を徹底することで、昨年度の達成率89.2%よりは上回ったものの、全体の相談内容のうち、最大の28.0%を占める不登校について、好転割合が23.7%と低かったため、目標達成には至らなかった。											
			総括											
見直し方向性		維持	7年度のKPIの達成率は、6年度よりも4.6ポイント上昇しており、スクールカウンセラーの派遣日数を拡充したことに加え、スクールカウンセラー連絡協議会において、学校がスクールカウンセラーや他の関係機関と連携を図るよう周知することで、成果の更なる向上が期待できることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	ハートなんでも相談員設置事業費								予算主管課	義務教育課
	事 業 概 要	児童生徒や保護者が気軽に相談できる体制の充実を図るため、学校現場に相談員を配置する。								始期	2004
										終期	
	K P I	児童生徒及び教職員、保護者等が抱える問題が好転した相談件数の割合（ハートなんでも相談員）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	36 %	目標値	36 %	目標値	36 %	目標値	36 %
		実績値	%	実績値	38.8 %	実績値	38.7 %	実績値	44 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	107.78 %	達成率	107.5 %	達成率	122.2 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	8625 千円	最終現計 予算額	8838 千円	最終現計 予算額	8798 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			8300 千円	決算額	8720 千円	決算額	8600 千円	決算額	千円	
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	198 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因	
		総括	
見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標値を上回っている。現場のニーズはますます高まっており、今後も事業を継続し、教育相談体制の充実を図ることにより、8年度以降もKPIは達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	スクールソーシャルワーカー活用事業費						予算主管課	義務教育課		
	事 業 概 要	いじめ、不登校、暴力行為等の課題解決への対応を図るため、社会福祉等の知識・技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）、スーパーバイザー(SV)を配置する。						始期	2008		
								終期			
	K P I	児童生徒の抱える問題が解決、あるいは好転した割合（スクールソーシャルワーカー）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	20 %	目標値	20 %	目標値	20 %	目標値	20 %
		実績値	%	実績値	27.2 %	実績値	23.4 %	実績値	37 %	実績値	%
		ストック /フロー	フロー	達成率	136 %	達成率	117 %	達成率	185 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計	10679 千円	最終現計	10908 千円	最終現計	10670 千円	最終現計	千円	
			予算額		予算額		予算額		予算額		
			決算額	9326 千円	決算額	9655 千円	決算額	9794 千円	決算額	千円	
							繰越額	千円	繰越額	千円	
				不用額	876 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因	
		総括	
見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標値を上回っている。今後も事業を継続し、教育相談体制の充実を図ることにより、8年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。	

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。